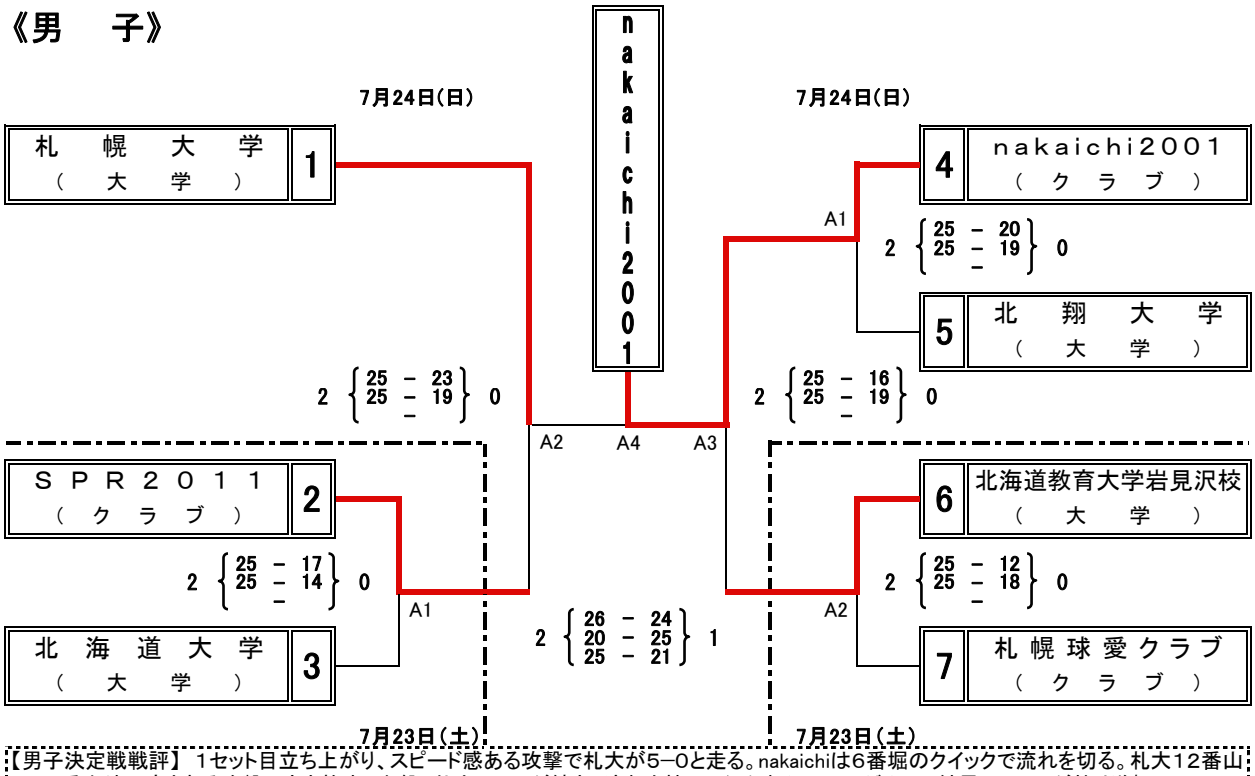
平成23年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 北海道ラウンド

開催日　平成23年7月23日（土）・24日（日）
会　場　札幌市美香保体育館（A・B・Cコート）

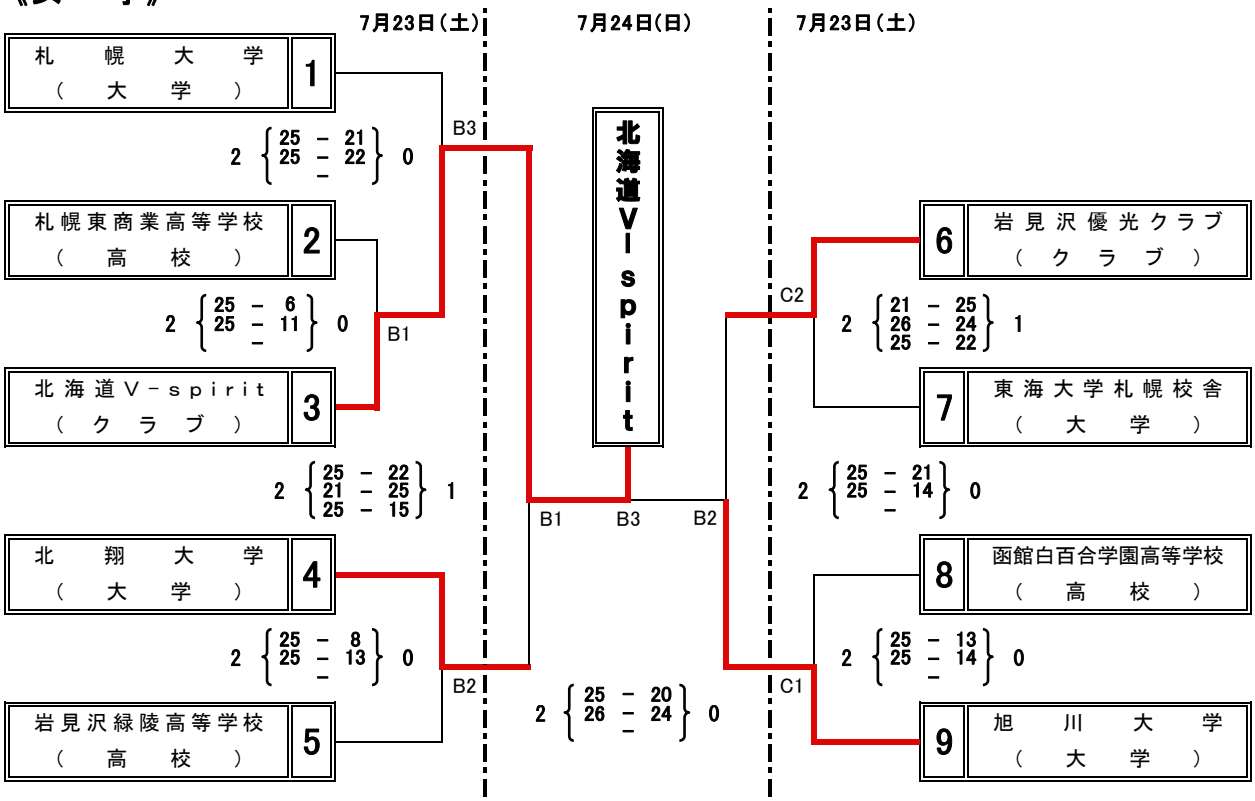
大会委員長　大　江　憲　一
競技委員長　杉　木　　恵
審判委員長　酒　出　　修
総務委員長　山　上　章　治

《男　子》



【男子決定戦戦評】 1セット目立ち上がり、スピード感ある攻撃で札大が5−0と走る。nakaichiは6番堀のクイックで流れを切る。札大12番山川、9番出崎の高さある攻撃で突き放す。中盤、札大のミスが続き、流れを持って行かれシーソーゲムに。結局nakaichiが粘り逆転し、セットを取る。2セット目、立ち上がりからシーソーゲームで両者譲らず終盤で札大が抜け出しフルセットへ。3セット目も序盤両者譲らず試合が進むが、nakaichiの高いブロックに札大が捕まり始めるが、札大も粘る。中盤nakaichiはレシーブを乱されるが繋ぎnakaichi16番中陣が決める。最後nakaichi6番堀のアタックが決まり、北海道ブロックラウンドへの出場を果たす。　（大友　大輔）

《女　子》



【女子決定戦戦評】 クラブカップ大会を欠場して、皇后杯北海道ブロック大会の出場権のないV－spiritと大学選手権ベストフォーの旭川大学との対戦となった。 第1セット、競り合いから抜け出したV－spiritは、新加入松田のアタックなどで25－20で先取する。 第2セットは一進一退の攻防で、旭川大は東のアタックでジュースに持ち込んだが、最後は連続ミスが出て万事窮した。　（大江　憲一）